



「ぎまままに」川柳

旬のお題

旬

七輪で 脂落としたい この身体
ちよいデブおやし

旬すぎて 熟した女と なりにけり
ぼこべん

胸張って 自分で決める 今が旬
月丘夢子

憎まんと 思うコンピニ ダイエット
マルケーにありがとう

旬のもの 口にし笑顔 秋を知る
ジョージ

野菜さま あなたの旬が 分からない
ラン

金色や 稲穂金時 栗きんとん
ヒトリでプリキュア

「旬」と聞き 嫁が浮かぶの 小栗旬
早乙女勇樹

■応募方法

住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。
〒509-5192 (住所不要) ☐ koho@city.toki.lg.jp
☎ 1111 (内線185) / ☎ 7763
※応募多数の場合は採用されないことがあります。

11月1日号の投稿募集

お題は「感謝」です (1人1句)。
締め切りは10月18日(木)です。

わたしの
ほやねさん

「ほやねさん」とは…
つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って
「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

私は古希を迎えました。人生70年、楽しいこと、うれしいこと、悲しいこと、苦しいこと、いろいろと味わってきました。思い起こせば、私にとってのほやねさんは、友人や近所のおばさん、そして職場の仲間でした。今の若い人たちは、メールやSNSという方法でいろんな仲間とつながりコミュニケーションを取っています。いつでもどこでも、相手につながる便利さがありますが、「本当に心が解放されているのかしら」と心配に思うことがあります。誰かに話を聞いてもらうためには、その人と会って顔を見ながら言葉を交わすことがとても大切なことだと思うのです。昔と今で人とつながる方法に違いがあっても、気持ちを伝えるために大切なことはきっと変わらないはずで。

私たち団塊の世代は、誰かが困っていると思えば「どうしたの?」と声を掛けてしまいます。赤ちゃんを見ればあやし、笑顔を贈ります。そんな風に私たち全員が、ほやねさんになることができると思います。ちょっぴりお節いなほやねさんかもしれませんがそれもあかなと思います。

子育て中のママたち、おばさんに思い切って声を掛けてみませんか? きっと町じゅうのほやねさんが、あなたからの声掛けを待っていますよ。

ペンネーム ももちゃん (肥田町)



募集

掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

■応募方法

住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。
〒509-5192 (住所不要) ☐ machisui@city.toki.lg.jp
☎ 1111 (内線186) / ☎ 7763
※応募多数の場合は採用されないことがあります。